

関する意識調査

【アンケート調査の 実施概要】

- ・ 調査期間 平成15年10月1日～31日
- ・ 調査対象 蒲郡市全職員1,283人
- ・ 有効回収数 1,042人
- ・ 有効回収率 81.2%
(男性508人、女性534人)

蒲郡市では男女共同参画社会を目指して、平成13年から「男女いきいき蒲郡 蒲郡市男女共同参画プラン」に沿ってさまざまな事業を展開しています。

今回、市役所から男女共同参画を進めるための前段階として、まずは市職員の意識を把握する目的で、アンケート調査、男女共同参画に関する職員意識調査を実施しました。その調査結果を抜粋してお知らせいたします。

仕事・家庭・地域活動について、どのように考えているかを調べました

「女性は男性の仕事の補助をしていればよい」という設問に対して、全体の85%が「そう思わない」と回答しています。

「女性はフルタイムで働かずに、家事育児中心の生活が望ましい」という問いについて、「そう思う」と回答したのは、男性が26%でしたが、女性は8%に過ぎませんでした。

「共働きでも、家事・育児は女性がするほうがよい」の問いに、男性は17%が「そう思う」と回答したのに対し、女性はわずか2%でした。

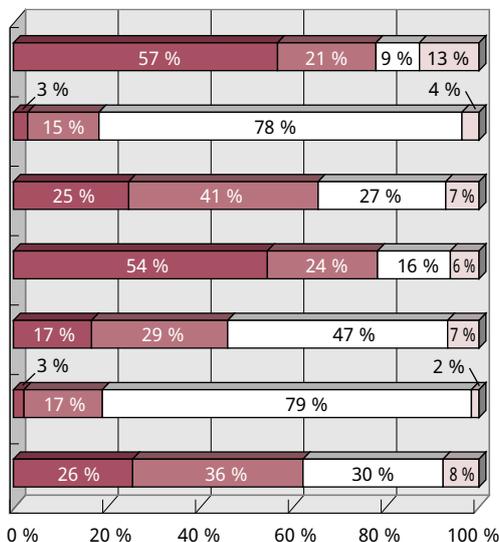
男性は女性が働いているいないにかかわらず、家事育児は女性がすることを望み、女性は男性にもっと協力してほしいと考えています。

男性と女性の間で、意識の違いがはっきりと出ています。

男性

仕事・家庭・地域活動について

女性



男女ともに男女共同参画への意識改革をする必要がある

女性は男性の仕事の補助をしていればよい

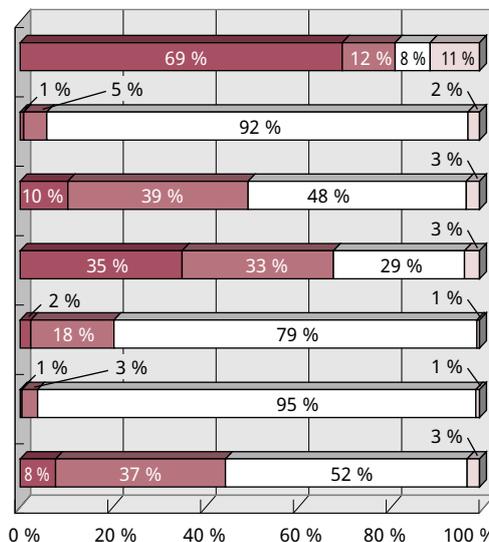
介護休業は女性が取得した方がよい

育児休業は女性が取得した方がよい

共働きでも、家事・育児は女性がするほうがよい

男性は仕事をすれば、家事や地域活動などなくてもよい

女性はフルタイムで働かずに、家事育児中心の生活が望ましい



■ そう思う ■ どちらとも言えない □ そう思わない □ わからない